

# 確かな学力の育成

上益城教育事務所では、平成28年度取組の重点として「確かな学力の定着」を掲げています。本年度は特に、以下の3点をお願いしています。

- 「検証改善サイクルを生かした授業改善」
- 「補充的な学習の計画的な実施」
- 「家庭における学習習慣の確立」



## 1 検証改善サイクルを生かした授業改善に向けて

検証改善サイクルとは、学力向上に向けて1年間を見通して取り組むためのものです。上益城郡内には、以下のように、「課題意識の共有」や「共通実践の推進」を図られている学校があります。

### 郡内の取組例

学力向上の検証改善サイクルの確立プランを前年踏襲ではなく、該当する月毎に、調査の分析結果や課題、取組事項等を書き込み、生きたプランとして全教職員の改善意識を高めている。

学期始め・学期終わりの全校集会で、教員の実践事項について研究主任が説明し、学期末に生徒が各教科での授業実践状況を4段階で評価する機会を設けて、共通実践を推進している。

県教育委員会では、「全校体制で取り組むポイント」を以下のように示しています。

### 全校体制で取り組むポイント

- 1 全職員で調査問題の趣旨（メッセージ）を確認する。  
まずは、問題を教師自身が解くことから始める。  
どのように思考・判断し、どんな記述の力が必要かを体感する。
- 2 全職員で調査問題の結果を分析し、課題の所在を話し合う。  
子どもたちの弱点を知ることが大切にする。  
誤答傾向や不十分な解答に指導改善のヒントを得る。
- 3 全学年を通じて、年間の見通しの中で課題を解決する。  
調査問題を教科書教材と関連付ける。  
自校の年間指導計画（例：備考）の中に課題を明記（朱書き）する。  
上記 ・ と同時に授業で活用できる資料を明記する。
- 4 調査問題や調査結果を活用した授業を構想する。



また、上益城教育事務所では、「『確かな学力』を育む授業のチェックポイント」(例)を作成しました。検証改善サイクルは、日々の授業の積み重ねです。こうしたチェックシートを活用して、授業改善を図っていきましょう。

チェックリスト		評価
学習態度	正しい姿勢を保つよう指導していますか	
	私語や手遊びをせずに、先生や発表する人に体を向けて話を聞くよう、指導していますか	
学び方	発表の仕方(伝える相手を見て、自分の言葉で伝わるように等)を指導していますか	
	ノートの取り方(板書と対応した、自分の考えや気づきを残す等)を指導していますか	
授業づくり	本時で身に付けさせたい力(評価基準)と整合している「めあて」を板書していますか	
	学習課題を解決する見通し(手順や留意点等)を児童生徒にもたせていますか	
	自力解決や協働(共同)解決の場を設けていますか	
	児童生徒の気づきや間違いの中にある良さを認め、褒めていますか	
	話し合いや練り上げの場面で、話し合いの視点や検討の視点を示していますか	
	児童生徒の言葉を生かした「まとめ」を行い、板書していますか	
	「 <input type="text"/> が分かった」「 <input type="text"/> が出来るようになった」と実感できる適用問題(練習)や振り返りの時間を確保していますか	
工夫点	( <input type="text"/> 自校で考えたチェックポイント等の欄 )	
	( <input type="text"/> 自校で考えたチェックポイント等の欄 )	

## 2 補足的な学習の計画的な実施に向けて

【平成28年度「熊本県学力調査」質問紙調査B結果より】

各学校では、放課後指導など、補足的な学習のための工夫をされています。

昨年度は小・中ともに県平均より高い割合でした。しかし、今年度は、右の調査結果のとおり、中学校では県平均より高かったものの、小学校では県平均より低くなっていました。

	個に応じた指導の充実が図られているか	
	上益城	県
小学校	59.7%	62.8%
中学校	62.1%	50.5%

(「ア十分」+「イ概ね」の割合)

上益城郡内には、以下のように、基本的な知識・技能の確実な定着を図る取組を推進されている学校があります。

### 郡内の取組例

朝は、朝自習や読書などの一人一人が静かに集中して取り組める内容にして、落ち着いて授業に取り組む雰囲気を作っている。

毎週決めた曜日の6校時や放課後を、教え合い・学び合う内容にして、教科を絞った(国語、算数)プリント学習を、全職員で指導したり、早く終わった児童生徒が友だちに教えたりする時間を設けている。

学期末の朝自習の時間を利用した校内計算大会の実施。90点以上を合格とし、不合格者は、合格するまで同じ問題で再テストを行っている。

県教委作成の「課題克服プリント」を活用する場を授業の中に設けている。

「話す」「聴く」の力を伸ばすために、視写・聴写の練習を設定している。

### 【効果を上げている学校の共通点】

日課表を見直し、朝活動の時間や放課後の時間を活用した、学力向上を目的とした「タイム」を設定されている学校があります。

その中でも、効果を上げている学校には、以下の共通点があるようです。

担任外も関わっていること

効果を上げている担任の実践を交流する場を設けていること



学校総体として、共通理解・共通実践を図っている学校が、効果のある繰り返し学習・間違い直しを徹底されています。

### 3 家庭における学習習慣の確立に向けて

<p>&lt; 熊本県学力調査意識調査 B 結果より &gt;</p> <p>宿題を出している先生方は、中学校においては、県平均よりも多くおられます。</p> <p>学習時間については、授業のある日の1日あたりの学習において、30分未満の割合が小学校で7%以上、中学校1%県平均よりも多くなっています。</p> <p>基礎的・基本的事項を定着させるためには、家庭学習の習慣を付ける必要があります。</p>		上益城	熊本県
	小学校	89.2%	91.5%
	中学校	73.1%	69.7%

<p>&lt; 設問：宿題は出していますか &gt;</p>		上益城	熊本県
	小学校	24.2%	17.0%
	中学校	12.1%	13.1%

<p>&lt; 設問：授業のある日、勉強をどのくらいしますか。30分未満の割合 &gt;</p>		上益城	熊本県
	小学校	24.2%	17.0%
	中学校	12.1%	13.1%


上益城郡内には、以下のように、家庭学習の習慣定着を図る取組を推進されている学校があります。

#### 郡内の取組例

- 毎日の帰りの会（放課後）に、家庭学習の計画を立て、家庭学習に実際に取り組んでみる時間を設定している。
- 家庭学習の優れた事例（ノート）を複写して掲示（ノートコンクール）する等、全校児童・生徒に紹介している。
- 宿題や自学についての自己評価（ ） 家庭学習の時間、保護者確認の欄を設けた家庭学習カードを作成し、毎日の様子を担任が点検している。

#### 【効果を上げている学校の共通点】

「家庭学習の手引き」を作成し、全家庭に配付されている多く学校があります。その中でも、効果を上げている学校には、以下の共通点があるようです。

<p>学級懇談会やPTA総会等で、「家庭学習の手引き」の意義と活用方法を具体的に、そして、丁寧に説明していること</p> <p>家庭学習の習慣が定着したかを、児童生徒だけでなく、保護者も定期的にチェックしていること</p>	
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------

学校総体として、共通理解・共通実践を図っている学校が、家庭と連携し、児童生徒の学習意欲を高めています。